

日本人はどこに住みたいのか? どう暮らしたいのか?



写真提供：広島県交流・定住促進協議会 ※写真はイメージであり、報告等の内容とは直接結びつくものではありません

過疎化、高齢化が他地域以上に進展している中国四国地方において、特に、中山間地域の住資源を有効活用した交流・定住を進めていくことは極めて重要であると考えます。こうした中、「定住」にこだわらない様々な、「多地域居住」の取り組みが実績を上げつつあります。

このため、本研究会において中国四国地方における多地域居住をめぐる多様な論点を提供することにより、今後の中山間地域における、地域資源の活用や農家民宿なども含む具体的な住まいの利活用と交流・定住の仕掛けの提案につなげていきたいと考えています。1月に開催したシンポジウムをスタートに2009年度はこのテーマで3回の都市計画研究会を開催します。今回は、シリーズ3回目の「現地視察・意見交換会」です。ご参加をお待ちしています。

2009年度 日本都市計画学会中国四国支部 都市計画研究会

テーマ 中四国地方の「多地域居住」の可能性を探る

ー中山間地域の住まいの利活用と交流・定住の仕掛けを考えるー

日時 2009年9月12日(土) 13:00～ (オプション13日(日) 庄原市高野町)

会場 視察・意見交換会 広島県世羅郡世羅町、庄原市板橋東 現地集合

参加 無料 20～30人(内宿泊20人)

主催 日本都市計画学会中国四国支部(企画・研究委員会)

共催 日本建築学会中国支部、都市住宅学会中国・四国支部、日本福祉のまちづくり学会中国四国支部

後援 日本建築学会四国支部、土木学会中国支部、土木学会四国支部、広島県建築士会、中国・地域づくり交流会

申し込み方法 FAX又はe-mailで、お名前・ご所属・住所、電話番号を明記の上、9月4日(金)までに
FAX 082-245-7629 e-mail miyamoto@crcc.or.jp までにお申し込みください。(様式自由)
社団法人 中国地方総合研究センター 宮本 茂 (宿泊20人分は事前に申し込みください。)
〒730-0041 広島市中区小町4-33 中国電力3号館5階 TEL 082-245-7900(代表)

視察・意見交換会

①日時 平成 21 年 9 月 12 日 (土)

民間による農園付き貸別荘の取組

- 13:00～ 視察地 1 農園付き貸別荘「やすだの郷(さと)」(広島県世羅郡世羅町安田 2806-1 他)
- ・世羅町の地元建設業者が単独で開発した民間農園付き別荘。戸数 6 戸(今年度中に 10 戸まで増築)で、年間賃料 40 万円。平成 21 年 6 月から入居済み。
 - ・風呂・建設担当者、入居者、地元集落担当者を交えて意見交換を行います。県内で初の民間独自の取組の可能性を探るとともに、別荘住民、地域、建設業者の役割、可能性、課題を視察します。
 - ・集合は現地をお願いします。

中山間地域における空き家活用に向けた取組

- 17:00～ 視察地 2 空き家(山口邸)(広島県庄原市板橋東)
- ・地域づくり活動が盛んな敷信(しのう)自治振興区が空き家(戸建て農家)活用に向けて研究会を発足させ、所有者、地域、行政、大学関係者が活用方法について検討中。活用に向けた地域の思いと実施に向けた課題・可能性を探ります。
 - ・現在、お試し暮らしに向けた事業を検討し、所有者、地域、行政が連携した好事例になることが期待されています。
 - ・現在の建物(空き家)を見学するとともに、敷信自治振興区、所有者、自治会関係者との意見交換を行います。
 - ・集合は、敷信自治振興センター。庄原市板橋町 203-6 電話 0824-72-0571

②当日の宿泊

当日は、庄原市敷信自治振興区での意見交換会(交流会)実施の後、申し込みの方は宿泊となります。(空き家又は近隣の公民館を宿泊場所とする予定です。)

③参加費

宿泊料は無料。ただし、交流会費用(飲食代)については実費を徴収いたします。

④定員

20～30 人程度まで。(宿泊 20 人)

④翌日のオプションツアー

参加者の要望があれば、翌日の 9 月 13 日(日)、庄原市高野町の農家民宿等の取組み他を視察予定です。

■ 今後の予定

後日正式な情報を提供いたします。
日本都市計画学会中国四国支部のホームページなどをご覧ください。

まとめのシンポジウム

○日時 11 月 7 日(土) 14:00～17:00

○会場 広島市内を予定

○内容 中山間地域の住まいの利活用と交流・定住の仕掛けを考える

①方向性を探れる事例紹介

※ 9 月末までにパネリストを決定します

②まとめの議論

コーディネート

(社)中国地方総合研究センター 企画部長 宮本 茂 氏



都市と田舎のどちらも楽しむライフスタイル すでに始まっています。

写真提供：広島県交流・定住促進協議会 ※写真はイメージであり、報告等の内容とは直接結びつくものではありません